

Harmony

vol.186

2020 夏号



特集

～新型コロナを乗り越えて～



ウイルスいる前提 —院内での感染阻止—

コロナ時代の新たな日常へ

5月25日に緊急事態宣言が全面的に解除され、感染予防と社会経済活動を両立させていこうと社会は取り組んでいます。私たちは政府が専門家会議で提言した「新しい生活様式」を徹底することで、コロナ時代の新たな日常で、安心できる医療を患者さんに提供いたします。まずは継続的に、感染拡大防止の一環として来院患者さん全員に正面玄関での検温、問診票の記入を実施しています。透析患者さんについては送迎の方も含め入館許可書を提示していただき、血液浄化療法センター前で検温を実施しています。

また、発熱や呼吸器症状のある患者さんの

診療時間を決め、待合でほかの患者さんと一緒にならないように、時間を決めて来院していただくようお願いしています。診察時も別入り口から入っていただき、別室で行っています。外来の待合では、密にならないよう間隔を空けて座っていただくようにしており、椅子の配置なども変更しました。職員全員が出勤前に健康チェックを行い、自身の健康にも気を付けています。

全職員が一丸となって新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、予防策に取り組んで患者さんが安心して診療を受けられるようにいたしますので、今後ともよろしく願いいたします。

大切な人へ心と笑顔をつないでいく

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い急務とされたことは、入院患者さんや医療従事者に対する院内感染防止対策の徹底でした。当院では高度急性期病院、また地域からも入院患者さんを受け入れております。治療に際しては痛みやつらいことが伴う場合もあります。そんなとき、これまでのご家族や大切な人たちの面会で、笑顔が見られ元気をとり戻す支えにもなっていました。その中で面会制限という対応を取らざるを得ない状況になりました。患者さん、ご家族の皆さんが対面で会えないこと、特にご高齢の患者さんにとっては日常生活活動の低下などが心配されました。また医療従事者側も、面会制限にさまざまな葛藤がありました。そこで「患者さんにご家族の時間を大切にしたい」という思いから、病棟用タブレットを準備して、テレビ電話でのオンライン面会を開始しました。実際に

タブレット画面に映る患者さんの顔を見られ、優しく声掛けをされていたご家族、そして互いに笑顔があふれ「もう顔を見て話せないと思っていた、元気な姿に会えて嬉しかった」とオンライン面会を終えたご家族より言葉をいただき私たちもうれしくなりました。緊急事態宣言は解除されましたが、今後も長期にわたり新型コロナウイルスと共存しなければならない状況が想定されます。再び面会制限となってもオンライン面会で大切な人との繋がりを大切にしていきたいと思えます。

なお、7月1日より面会条件を緩和いたしております。詳しい内容は、電話でお問い合わせいただくか、当院のホームページでご確認ください。面会をご希望される場合は、お手数ですがあらかじめ電話にて、ご連絡いただきますようお願いいたします。





非感染症疾患の治療も確実に —安全に専門医療を継続する—

新しい日常の中での安全な専門医療

当院では患者さんが新しい日常で安心して糖尿病や腎臓病の専門医療が受けられるように取り組んでいます。糖尿病・腎臓病を悪化させないように、糖尿病療養指導士や腎臓病療養指導士が感染症対策を徹底して指導をさせていただきます。また、悪化してしまい腎代替療法が必要になった場合も継続して安心して透析治療が行える環境を用意させていただいております。

血液浄化療法センターでは、現在約370名の血液透析患者さんに治療を提供しております。

多人数が同時に同じ空間を共有して行う治療となるため、新型コロナウイルス感染症に対しては、日本透析医会から発表された「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について」に則った対策を実行しております。

今後の新型コロナウイルスの第2派到来に備え、日頃より感染対策を徹底し当院で安心して透析治療が提供できるよう取り組んでおります。

当院への外来維持透析紹介につきましては入退院支援センター（086-282-5311）までご相談ください。

新しい日常で「つながり」を意識して —医療連携のこれから—

入退院支援センターでは新型コロナウイルス感染症の影響で、3月より連携活動を自粛していましたが6月より少人数での訪問で再開となりました。これまで高度急性期病院を始め地域の病院、診療所、施設等、様々な関係機関との「顔の見える連携」を行ってまいりました。自粛して3ヶ月近くは電話だけの医療連携となり、顔が見えずに少し寂しいと感じていましたが、連携活動再開となった時には「訪問待っていたのよ」と連携先からお言葉をいただき、これまでの「繋がり」に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また新しい連携スタイルとして、岡山大学病院とは食道がんなどの「消化器がんの周術期管理」分野で「オンライン連携会議」を始めたばかりでしたが、訪問自粛の影響を受けることなく、顔の見える連携を続けることができている。このような新しい繋がり方は、今後より必要になってくるであろうと考えています。しかし、対面の中でしか得られない医療連携の手ごたえもあります。連携先の状況に応じた活動を展開し、患者・ご家族の皆さまが安心して療養できるようスムーズな体制作りに取り組んで参りたいと思います。



入退院支援センター 副看護部長 森安 香緒里

組織内での変化

ICTを利用した感染症対策



オンライン会議の様子

新型コロナウイルスがなければ、実現しなかった!?かもしれません。以前より、連携を取らせていただいている岡山大学病院とはオンラインで会議を行っていましたが、他方とのオンライン会議は実施していませんでした。当院には倉敷に同法人のしげい病院があります。今まではお互いの病院を行き来し会議を行っていましたが密になる会議を避けるためオンラインでの会議を実施し始めました。また病院間のみでなく関係各所とのオンライン会議も実施しています。使用したスタッフからは、「院内の会議室にしながら他院の方や他府県の取引先と顔を見て話せ、頻繁な会議でも移動時間もないので、スケジュール調整しやすい!!」「相手の顔が画面に大きく映ると、以前の直接対面した会議よりも近くで向かい合って話しているような気がする」と好評でした!!

院内研修もオンライン化へ

院内で行っていた、講義形式の医療安全院内研修、感染対策院内研修は、密集を避けるためにeラーニングに変更になりました。研修準備をしていた担当者の負担も大幅に減り職員も自分の就業時間内に時間を作って勉強ができるため働き方改革につながりました。



最新のトイレへ！改装が終了しました！



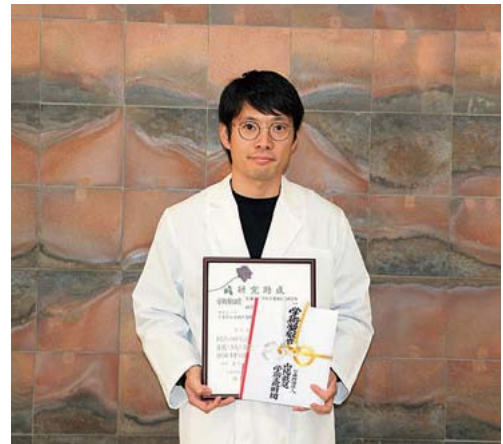
今まで、昭和のトイレでご不便をおかけしていました。綺麗なトイレへと生まれ変わりました！タイル敷きの昭和な雰囲気、男性用、女性用の間に仕切りがない、男性用トイレの前を通る女性用トイレ、そんなトイレはもうありません！！男女別の多目的トイレを設置し、男性多目的トイレにも、おむつ替えシートやベビーホルダーを設置してパパにも優しいトイレになりました！女性用は個室数が増え快適に利用いただける空間になっています。工事中ではご不便をおかけし、申し訳ありませんでした。ぜひ綺麗になったトイレをお使いください！

きびだんごをいただきました！



岡山といえばきびだんご。きびだんごといえばの廣榮堂さんから「きびだんご」をいただきました！！「医療の最前線で戦っている医療従事者のために、地元企業からエールを」という思いから今回の活動を始められ、当院も参加している市民の皆さんと医療従事者とが地域医療について考える『わが街健康プロジェクト。』を通してお声掛けいただきました。新型コロナウイルスにも負けず、地域の皆さんに安心をお届けできるよう医療・介護に従事してまいりたいと思います。

腎疾患の謎解明へ、研究助成受賞！



重井医学研究所 分子遺伝部門の古家野孝行研究員が公益財団法人 山陽放送学術文化財団より第57回(令和元年度)学術研究助成(学術奨励賞)を受賞しました。受賞対象となった研究は、酵母をモデルに遺伝性腎疾患である多発性腎嚢胞の病態解明を目指しています。

外来診察 予定表

Outpatient care schedule

受付時間 8:30~12:00 (再診の方は、再来受付機にて午前8時より受け付けています)
13:30~16:30

休診日 木曜・日曜・祝日
(急病の場合は、あらかじめ電話で対応可能かどうかのお問い合わせをお願いいたします)

		月	火	水	木	金	土
内科	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖)	休診	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)
		大森 一慶 (総・糖)	池田 弘 (肝)	十川 圭司 (総・糖)		荒木 俊江 (総・糖)	
	腎臓	福島 正樹 (腎) (紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)		岡 優子 (総・消)	岡 優子 (総・消) 山本 直樹 (総・消)
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—		—	—
★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 ★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています							
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休診	交代医師	交代医師
	専門外来 (予約)	(肝臓・ 生活習慣病) 池田 弘	(糖尿病・腎臓病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—		—	—
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休診	—	—
小児科	午前	瀧 正史	虫明 亨祐	虫明 亨祐	休診	虫明 亨祐	瀧 正史
		虫明 亨祐	今村 昌司	今村 昌司		今村 昌司	虫明 亨祐
午後	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種		交代診療 予防接種	
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	川田 珠理	川田 珠理		今村 昌司	今村 昌司
	午後 完全予約制	今村 昌司	川田/河野	川田/赤池		今村 昌司	今村 昌司
★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中)です。予め電話での予約をお願いします。 他の曜日に来院されてもお帰りいただく場合がございます。ご了承下さいませお願いします。							
外科	午前	櫻間 教文	平松 聡	平松 聡	休診	平松 聡	平松 聡
ダイアライ シスアクセス 専門外来	午前	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	櫻間 教文
★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約をお願いします。 ★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。							
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休診	岡山大学 13:30~16:00	—
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休診	—	—
眼科	午後	岡山大学 第4曜 日13:30~16:00	—	—	休診	—	—

理念 | 生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

基本方針

1. 生命の尊厳と人権を尊重した良質な医療を通じて、**地域の信頼**に応えます
2. 知識・技術を向上して敬意を持って協力し合い、**チーム医療**を実践します
3. 地域社会への持続的な貢献を目指し、**健全経営**に取り組みます

Information



重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL 086-282-5311 / FAX 086-282-5345
<https://www.shigei.or.jp/smrh/>



関連施設
しげい病院
重井医学研究所附属病院
重井医学研究所
岡山しげい訪問看護ステーション
岡山しげい居宅介護支援事業所

倉敷しげい訪問看護ステーション
倉敷しげい居宅介護支援事業所
重井薬用植物園
倉敷昆虫館
健康増進施設 はあもにい倉敷

